

第2フェーズの結果概要について

- 昨年12/11～1/31(のべ47日間)に東京都、神奈川県、埼玉県の18会場で住民説明会を実施。いただいた意見は、内容や趣旨ごとに分類・整理した上で公表予定(4月中旬)。
- 特に第2フェーズでは、国、関係自治体が連携し、ホームページ、広報紙に加え、新聞広告等で広報を強化。説明会のほか、特設ホームページ、特設電話窓口、ニュースレター等を通じ、幅広く情報提供や意見等の聴取を実施。

【参考】説明会来場者数 約5,100人、意見数 約4,500件
(第1フェーズとの合算) 説明会来場者数 約11,000人、意見数 約10,500件

結果概要

羽田空港機能強化の必要性・実現方策について

- ◆ 羽田空港の国際線増便について、引き続き高い関心が示された。
(国際競争力の強化、地方の活性化、訪日外国人への対応、利便性等)
- ◆ また、何故このような飛行経路の見直しが提案されているのかについて、他の選択肢が見当たらないことも含めて、深く知っていただいた。



＜ヘッドフォンを用いた飛行映像コーナー＞
実際に近い形で飛行機の見え方や音を体験

環境や安全への配慮、対策の要望について

- ◆ 詳細なルート図を提示するとともに、実際に近い形で飛行機の見え方や音を体験していただくことで、影響の程度がよく分かったとの声をいただいた。
- ◆ 騒音や安全性への配慮を求める声や、具体的な対策を要望する声もいただいた。
 - ・ 運用上の工夫 「高度を出来る限り引き上げてほしい」、「運航頻度を少しでも下げてほしい」等
 - ・ 音に関する対策 「航空会社に対し、より静かな航空機の運航を促してほしい」、「騒音が心配な地域では、防音工事を実施してほしい」等
 - ・ 安全対策 「外国航空機を含めた安全対策を強化してほしい」、「落下物について万全の対策を講じてほしい」等

➡ 今後も、より多くの方々に知って頂けるよう、総合的なコミュニケーションに取り組んでいく。